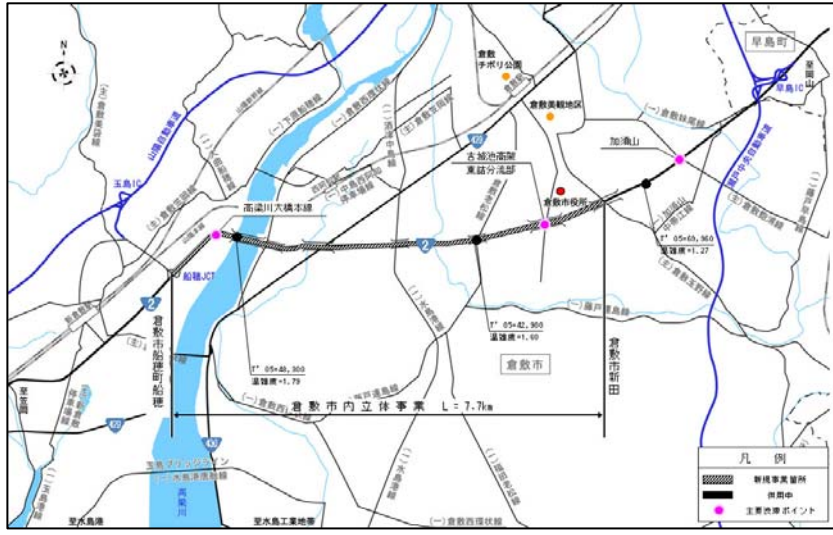


新規事業採択時評価結果（平成19年度 新規事業化要求箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：木村 昌司

事業の概要

事業名	一般国道2号 倉敷立体	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：岡山県倉敷市新田 至：岡山県倉敷市船穂町船穂	延長	7.7 km		
<p><b>事業概要</b></p> <p>一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し、北九州市に至る延長約680 kmの主要幹線道路である。</p> <p>当該区間は倉敷市新田～倉敷市船穂町船穂間の全長7.7 kmの道路である。</p>					
<p><b>事業の目的、必要性</b></p> <p>国道2号は、岡山南部地域を東西に貫通する随一の主要幹線道路であるが、当該区間は、暫定2車での供用区間となっており、慢性的で深刻な交通渋滞が発生している。また、倉敷市は、人口約48万人の岡山県第二の都市である一方で、著名な観光資源を有す我が国有数の観光都市である。さらには臨海部には特定重要港湾水島港や臨海工業地帯を有する工業都市でもあり、これらの地域へのアクセス性向上による、都市活力の増進を図る事が重要である。</p> <p>このような状況を踏まえ、当該区間の整備は、交通混雑の緩和を図るとともに、交通安全の確保や沿道地域の環境保全、都市機能の充実、地域経済の発展や拡大を促進する上で必要な路線である。</p>					
全体事業費	150億円	計画交通量	76,800台/日		
<p><b>事業概要図</b></p> 					

**関係する地方公共団体等の意見**

倉敷立体事業は、渋滞の著しい一般国道2号の交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、倉敷市長および倉敷商工会議所より早期整備の要望(平成18年10月10日)を受けている。

**事業採択の前提条件**

費用便益：便益が費用を上回っている  
手続きの完了：都市計画決定済(S43.8.23:S47.8.15)

事業評価結果

費用対便益	B/C	10.8	総費用：127.75億円 （事業費：125.08億円 維持管理費：2.67億円）	総便益：1,377.65億円 （走行時間短縮便益：1,320.50億円 走行費用減少便益：42.38億円 交通事故減少便益：14.77億円）	基準年 平成19年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=9.74 (交通量 -10%)	B/C=11.86 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=11.96 (事業費 -10%)	B/C=9.82 (事業費 +10%)	
		事業期間変動	B/C=11.55 (事業期間 -2年)	B/C=10.14 (事業期間 +2年)	
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	高梁川の合流部付近や、車線が減少する新田交差点付近における渋滞損失時間の約81,000千時間/年の減少が見込まれる。(4215,384千人時間/年→4133,934千人時間/年) 【1kmあたり(台kmあたり)渋滞損失時間】高梁川の合流部付近での1kmあたり渋滞損失時間は、全国上位2割区間に位置している。 【渋滞度曲線】岡山県内直轄国道区間における渋滞度曲線の中で、上位10位に含まれる。 【その他の特徴】岡山国道事務所ホームページの渋滞アンケートの結果で、「渋滞していると感じられる」箇所として最も多くの意見が集まった箇所である。 (主要渋滞ポイント：高梁川大橋本線、古城池高架東詰分流部)	
		事故対策	◎	単路部3箇所において、死傷事故率全国平均を大幅に上回っている。また、死亡事故も発生している。 【死傷事故率】 船穂JCT付近(323.8件/億台キロ(単路部)) 全国平均：単路48.2件/億台キロ 交差点83.1件/億台キロ 岡山県平均2倍：単路109.2件/億台キロ 交差点248.0件/億台キロ 【その他の特徴】倉敷市新田～船穂町船穂間(7.7km)において、H13～H16の4年間で死亡事故が8件発生している。	
	歩行空間	—	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	○	浅口市から三次医療施設「川崎医科大学附属病院」への時間短縮 (浅口市役所から川崎医科大学附属病院の所要時間78分→60分)	
		地域経済	○	全国4位の貨物量を取り扱う水島港の流通の利便性向上 (倉敷市から水島港の所要時間47分→29分)	
		災害	○	第一次緊急輸送道路に位置づけられている道路である。 山陽自動車道の代替路線として機能する道路である。	
環境		—	注目すべき影響はない。		
地域社会	○	倉敷美観地区へのアクセス時間の短縮 (玉島ICから美観地区の所要時間34分→16分)			
事業実施環境		地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部として位置づけられている事業である。			

採択の理由

費用便益比が10.8と便益が費用を上回っているとともに、当該事業箇所は用地買収が完了していることから、円滑な事業実施環境が整っている。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。